

大きな憧れをいだく大草っ子



# 大草小学校だより「憧れ35」

第7号 平成27年7月31日(金) 文責 有谷孝彦

学校づくりの合い言葉

「つなげよう!笑顔と学び たくましさ」



## 夏本番です!

夏休みに入って、2週間が経過しました。今年の夏は、梅雨明けが遅く、どんよりした夏でしたが、ようやく29日に梅雨明けが宣言され、いよいよ夏本番を迎えました。6月14日に大草塾で植えた学校田の稲も随分大きく成長しました。自然の神秘とたくましさを感じるとともに、子どもの健やかな成長をつかさどる私たちも、35名の子どもたちと正面から向き合い、寄り添いながら頑張らねばと気持ちを新たにしているところです。保護者や地域の皆様のますますの御協力をよろしく願いいたします。



学校では、夏休み学習会を行っています。毎回20数名の児童が図書室に集まり、夏休みの宿題や自分の課題を持ち寄って学習に臨んでいます。学習の様子をみていると「集中力」にやや欠ける児童が多いように見受けられます。学習内容の理解を深めたいところですが、集中できないことには前に進めません。

私も気が散る方なので、「18分集中法：菅野仁著」という本を頼りに、集中できるよう努力しておりました。長くもなく短くもない時間であり、18分をひと区切りとして、繰り返すことで集中力を持続させるという方法です。18分が短く感じられるようになったから20分にするということはず、18分を繰り返すことが効果的なようです。

学習会でも試行しておりますので、御家庭で、またお仕事で試されてみてはいかがでしょうか。残り4週間の夏休みが、メリハリのある充実した夏休みとなることを期待しております。加えて、読書の時間の確保もよろしく願いいたします。m(\_)\_m



## 平和について

戦後70年を迎えました。戦争の恐ろしさ、愚かさ等について直接私たちに伝えてくださる方々が少なくなりました。

私の母は昭和一桁生まれで、小学生の頃に戦争を体験しています。松浦市に住んでいた母は、佐世保の大空襲を遠くの山の向こう側に見たと言います。激しい炎で夜空を赤く染める様子は、今でも鮮明に覚えており、忘れられないそうです。また、幼い弟二人を連れて防空壕へ逃げる途中、戦闘機に追われ、機銃掃射を受けた時の恐ろしさ、兄弟が兵隊として招集された時のこと、決して満足できない食事のこと等を話して聴かせてくれます。また、長崎市では、被爆者や被爆二世の方々を中心に、語り部活動等による平和推進活動が引き継がれております。



この70年間で平和国家「日本」が築かれました。過去の悲惨な戦争を二度と繰り返さないという強い思いで、平和の礎が築かれました。私たちは、その上に胡座(あぐら)をかいて生きてはいけません。私たちのできる小さな「平和」を積み重ねることで、そして語り継ぐことで平和な世界づくりを推し進めていきたいものです。

のどが渴いて  
たまりませんでした  
水にはあぶらのようなものが  
一面に浮いていました  
どうしても水が欲しくて  
とうとうあぶらの浮いた  
まま飲みました  
—あの日のある少女の手記から—  
長崎の平和公園にある  
「平和の泉」に刻まれた詩

### ☆8月の主な行事予定

- 8日(土) 大草夏祭り
- 9日(日) 登校日(平和集会)
- 21日(金) 登校日(水泳学習) 給食費集金日
- 29日(土) クリーン活動(育成会)



※ 学校だより等については、大草小学校HPに掲載しておりますので御覧ください。